

REHUGとは



大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム

災害時医療対応の原則

C (Command & Control) : 指示命令と協働

S (Safety) : 安全の確認

C (Communication) : 情報伝達

A (Assessment) : 評価

T (Triage) : トリアージ

T (Treatment) : 治療

T (Transport) : 移送



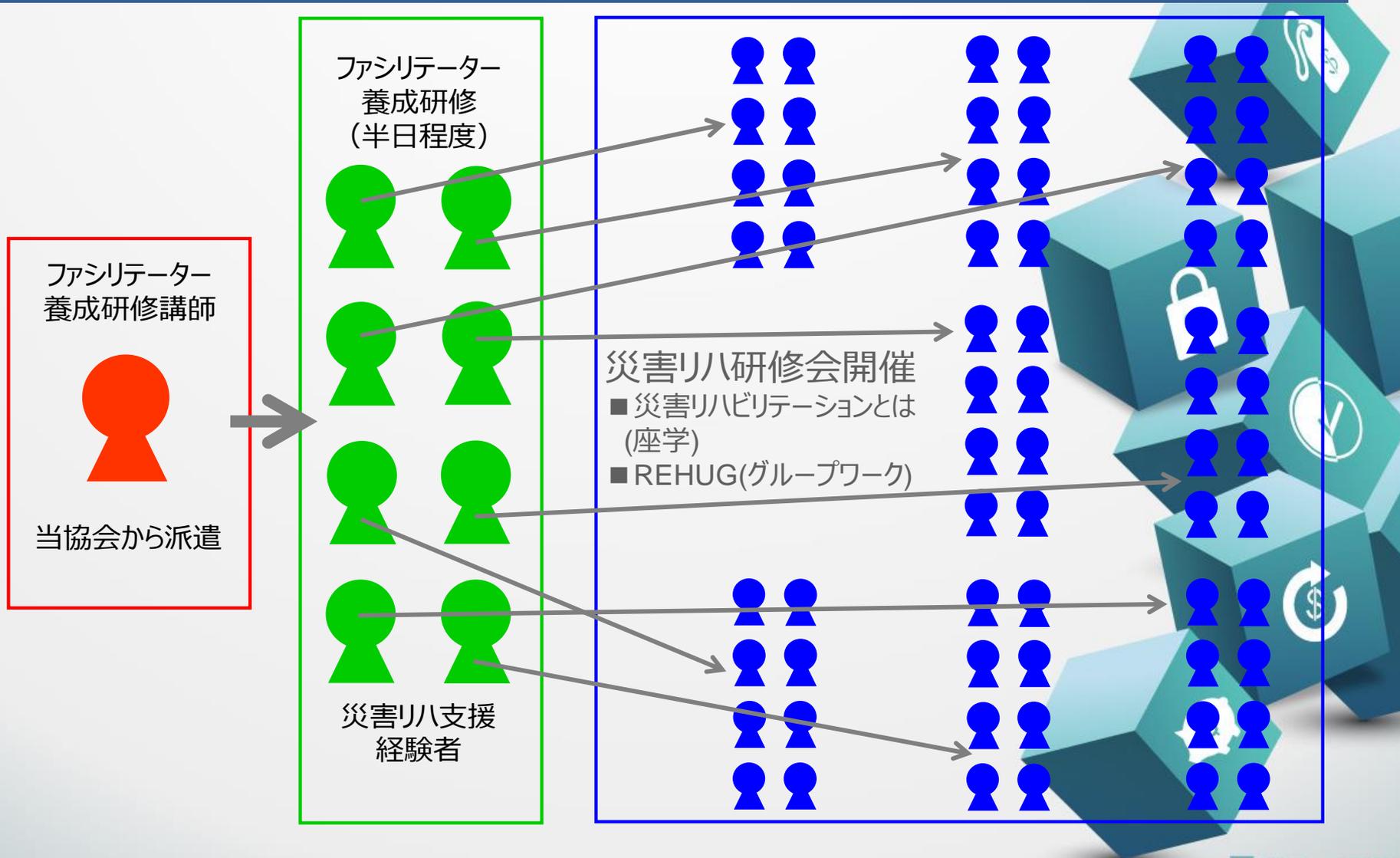
REHUGとは

リハビリテーション（Rehabilitation）本部（Honbu）運営（Unei）ゲーム（Game）の略であり。英語のRe「再び、何度も」、HUG「抱きしめる」という意味から、避難所や仮設住宅の要配慮者を何度でも支援するというイメージで名付けている。平成28年熊本地震におけるJRATの本部運営がベースとなっており、ゲーム参加者が活動本部と調整本部、それぞれの本部で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験する実践的なシミュレーションゲームとなる。災害時の本部運営に携われる人材を育成することは、次の災害に備えて非常に重要であり、活動本部長、調整本部長、ロジスティックスなど、それぞれの役割の中で、支援チームの受け入れ、派遣、福祉用具の貸与、記録等に対応するといった基本的な本部活動の運営を理解することはもちろん、時間経過とともに刻々と変化する状況に臨機応変に対応する能力も学ぶことができる。災害リハビリテーションにおける受援という新しい体験することで、それぞれの役割の理解を深め、参加者が協力しながら本部運営に取り組むカードゲームとして開発されている。

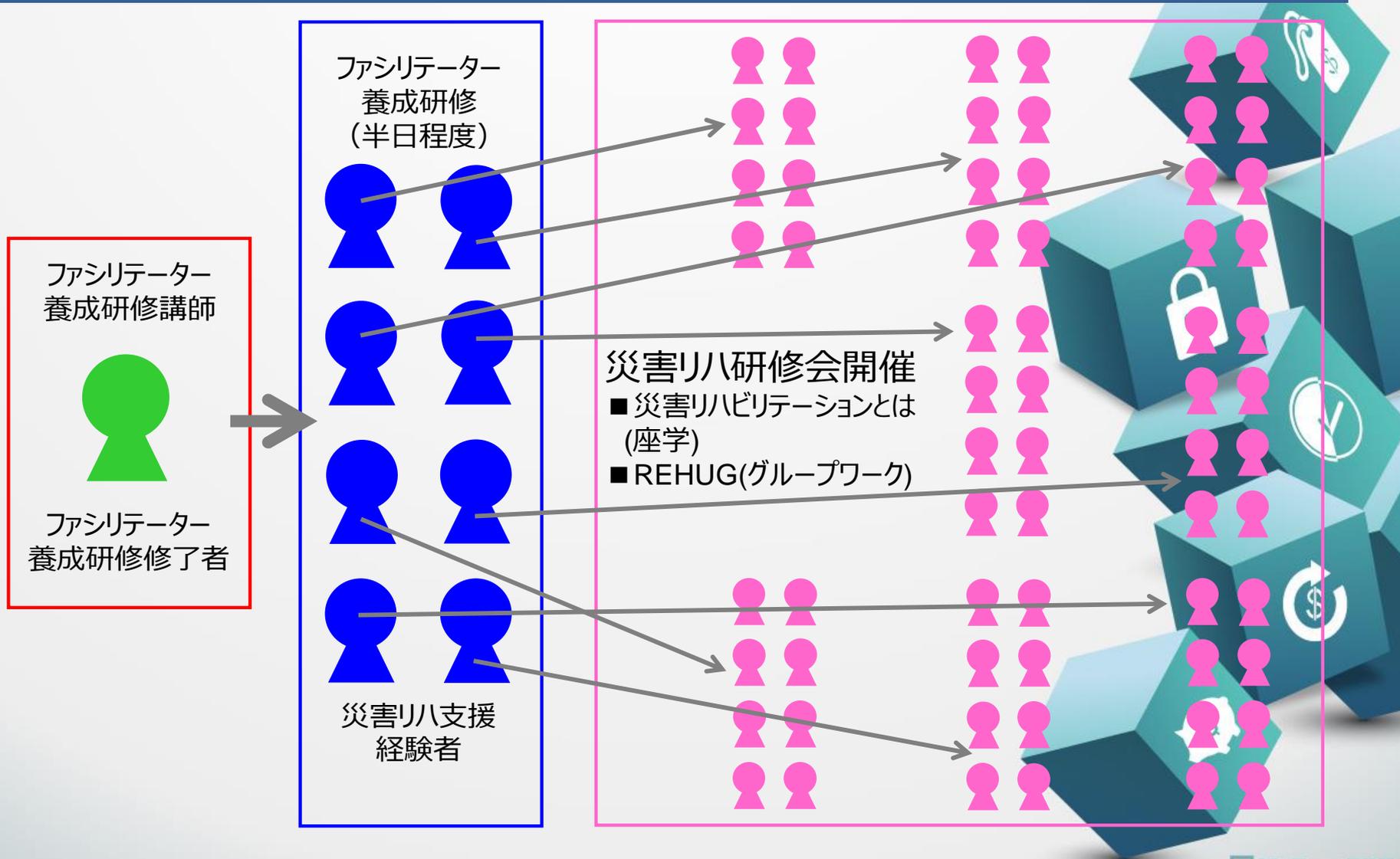
REHUGの使用について

- (公社)熊本県理学療法士協会(以下協会)が所有する「REHUG」の著作権は協会が保有し、平成30年10月19日付けで商標原簿に登録されている(商標登録第6091671号)。
- REHUGを行う際は、協会が認めたREHUGファシリテーター養成研修を修了したファシリテーターが参加しなければならない。ファシリテーター養成研修の講師については、ファシリテーターがいない地域に関しては、申請があった場合に協会から派遣する。
- 協会として推奨している研修会としては、半日のファシリテーター養成研修、半日の災害リハビリテーション研修(座学・REHUG)パックとなる。ファシリテーター養成研修講師を交え、ファシリテーター養成研修修了者と参加者と初回のREHUGの実施が望ましい。
- ファシリテーター養成研修を行った地域は、ファシリテーター同士でブラッシュアップしながらファシリテーターを養成し、REHUGを行っていく。

REHUG使用に関する流れ(熊本県以外初回)



REHUG使用に関する流れ(熊本県以外2回目以降)



REHUGにおける準備物

- REHUGカード(1グループ1セット)：定価10,800円(送料着払い)
 - 1) 時間カード：1番～79番(7:00～20:00まで10分刻み)
 - 2) イベントカード：1番～75番(イベント印刷あり)
 - 3) イベントカード：76番～108番(イベント印刷なし:オリジナルストーリー用)
 - 4) 電話・メール・ファックスカード：12枚(調整本部・活動本部用)
 - 5) 時間カード：予備1枚
 - 6) 配布資料データ(USBフラッシュメモリー)：スライド9参照
- 注)REHUGファシリテーターがいない地域へのカードのみの販売は致しません。

■ 備品等

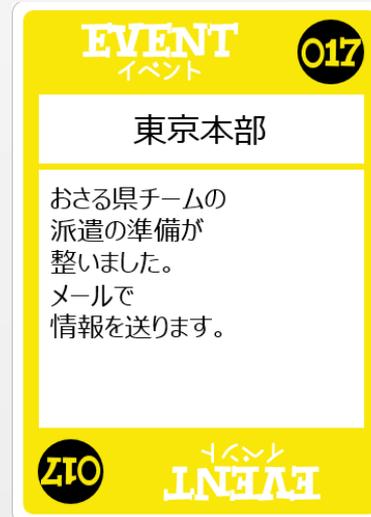
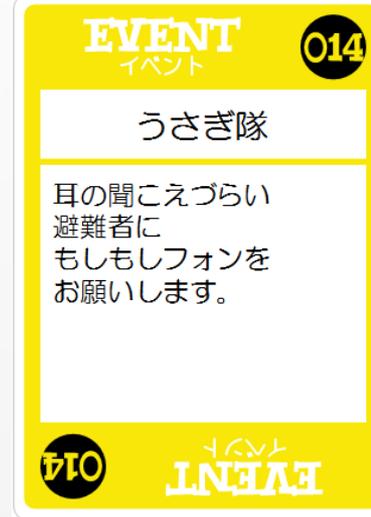
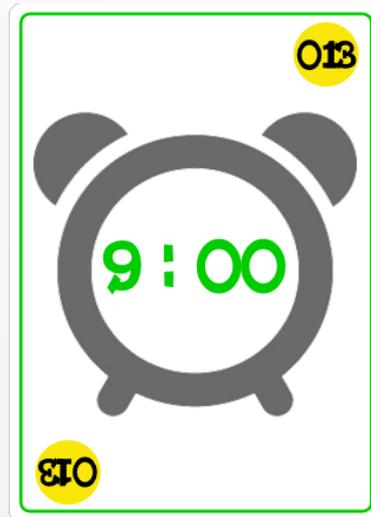
- ・会議机(配布資料を各本部が広げられる程度)：グループ数
- ・椅子：参加者数
- ・ホワイトボード用マーカー：各グループ4本程度
- ・どこでもシート(クロノロ記入用)：必要なロール数
- ・どこでもシートが貼れる壁面等：グループ数(調整本部・活動本部用)
- ・A4用紙(ロジメモ用等)：各グループ10枚程度
- ・名札(熊本県では災害時と同様の養生テープを使用)：参加者数

REHUGの配布資料(USBフラッシュメモリーデータ)

各グループにREHUGで使用する調整本部、活動本部それぞれの資料を用意します。*スライド3～16:2枚ずつ、17～21:1枚ずつ印刷(総印刷枚数:33枚)

	調整本部	活動本部
参加者の役割り	1枚	1枚
でこぽん県地図(発災前)	1枚	1枚
でこぽん県の市町村概要	1枚	1枚
でこぽん県(発災後)	1枚	1枚
大規模災害リハ支援チーム組織体制	1枚	1枚
活動本部の施設と備品	1枚	1枚
調整本部業務内容・マニュアル	各1枚	各1枚
活動本部業務内容・オリエンテーション	各1枚	各1枚
支援チームの活動期間・チーム構成	各1枚	各1枚
本日の活動予定	1枚	1枚
県庁医療救護班ミーティング資料	2枚(ファシリテーターから各本部へ)	
追加派遣支援チーム構成	5チーム分:5枚(ファシリテーターから活動本部へ)	

REHUGで使用するカード(例)



REHUG(グループワークイメージ)



REHUGにおける参加者の役割

役割① 調整本部長

役割② 調整本部（ロジ①） 調整本部長の補佐

役割③ 調整本部（ロジ②） クロノロ記録

役割④ 活動本部長

役割⑤ 活動本部（ロジ①） 活動本部長の補佐

役割⑥ 活動本部（ロジ②） クロノロ記録

役割⑦ 活動本部（ロジ③） 支援チーム宿泊
活動予定等の管理

役割⑧ 活動本部（ロジ④） 備品・装備の管理

役割⑨ 活動本部（ロジ⑤） ロジ③④の補助



REHUGファシリテーター養成研修について

- REHUGを行うにあたって、グループには必ずゲームの進行と助言を行う役割としてファシリテーターを配置します。
 - ファシリテーターの人数は、8～9名の一つのグループに対して1～2名です。
 - ファシリテーターの要件は、協会が派遣した講師によるファシリテーター養成研修(約4時間)を修了することを必須とします。研修内容は下記の通りとなります。
 - 1) 熊本地震における本部運営の実際：40分
 - 2) REHUG(ゲーム内容の理解と体験)：200分
- * ファシリテーター養成研修の翌日に、地域での初回REHUGを開催し派遣講師の下で行うプランを当協会は推奨しています。

REHUGファシリテーターの役割

- ファシリテーターが、でこぽん県大規模災害リハビリテーション支援本部以外の役割(東京本部、地域災害リハ支援チーム、関係支援団体、自治体職員等)となります。
いろいろな役割になって対応してください。
- 「…ですが」と各本部へ問い合わせをしてください。
- 活動本部と調整本部からの電話への対応をしてください。
- それぞれの役割に応じた活動(業務内容・マニュアル参照)を指示してください。
- 出来事を時系列に記録(クロノロ)をするよう指示を出してください。
- ToDoリストを作ると課題等が整理しやすいので、各本部へ指示を出してください。



REHUGにおけるゲーミング・シミュレーションの手順

Facilitator

東京本部
リハ支援チーム

関係団体

D M A T

J M A T

P C A T

自治体職員
避難所保健師
避難所管理者
etc.

TEL
MAIL
FAX

TIME

EVENT

Response

Facilitation

仮想被災地域
大規模災害
リハビリテーション
支援チーム本部

調整
本部



活動
本部

Command & Control
Safety
Communication
Assessment
Chronology

REHUGの実施について

- 災害リハビリテーション研修会の内容については、基本的に開催者側の企画でかまいませんが、REHUGを行う上で下記内容に関してはプログラムとして組み込んで頂く必要があります。

1) 熊本地震における本部運営の実際：40分

(データは熊本県理学療法士協会から提供しますが、著作権は当協会が保有していますのでお取り扱いにはくれぐれもご注意ください。)

- REHUGの実施については、下記の進行となります。

1) REHUGの説明：20分

2) アイスブレイク：5分

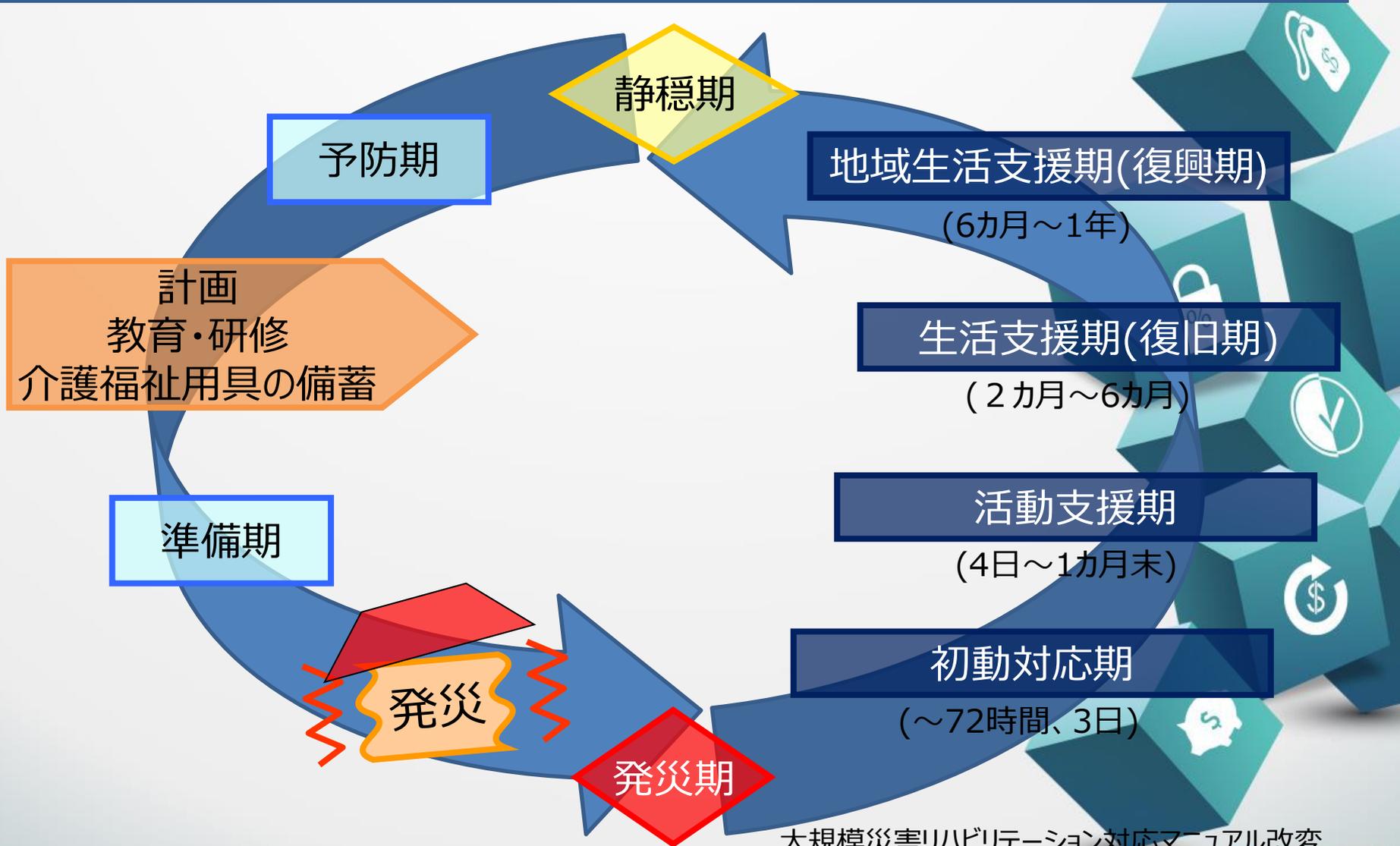
3) グループ内での役割決め：10分(開催側で事前に決めておいてもよい)

4) REHUG：120～180分

5) 発表・質疑応答・総括など



災害リハビリテーション・サイクル



いつも出来ることが、いざという時に出来ること

